公開年月日： 2021 年 5 月 31 日

提案団体名： 株式会社フォーラムエイト

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください	
技術の概要・実績等	技術の分野
現在、「インフラデジタルデータベースシステム」を開発・展開中で、システムを構成する製品を順次リリース中。本システムは、全国に点在する橋梁、トンネル等の道路関連構造物や付属物の位置情報・構造寸法をはじめとする各種諸元、図面、現地状況写真や損傷写真を含む各種点検結果を網羅的に一元管理するクラウド上のデータベースシステムである。クラウド上のインフラデジタルデータベースを中心に、各種ソフトウェアにより「現地点検」→「損傷度／健全度判定」→「点検調書作成」→「補修補強計画」→「補修補強実施」というサイクルを回し、道路に関する各種インフラの維持管理に活用できる。 現在、橋梁について「点検調査作成」に用いる「橋梁点検支援システム」と「補修・補強計画」に用いる「橋梁長寿命化修繕計画策定支援システム」をリリース済みで、「損傷度／健全度判定」に用いる「AI損傷度判定支援システム」を開発中である。 以下の分野に対応する。 (2)分析・予測技術:「AI損傷度判定支援システム」(開発中)でインフラデジタルデータベースに存在する膨大な損傷情報より損傷程度(ひび割れ)を自動判定するシステム (3)データ保有:道路・橋梁等土木構造物のデータベースによる維持管理・保守計画 (4)データプラットフォーム:3次元地図情報と連携する道路関連複数データベース(橋梁、トンネル、舗装、道路付属物等)の網羅的な活用 (5)データの活用(可視化技術等):BIM/CIMモデルの現場可視化、補修補強、改良、新規工事での4D/5D/nDシミュレーション	(2) (3) (4) (5)
(2)(1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ ※課題については、別紙の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください	
解決する課題のイメージ	課題の分類
本技術は主にインフラ維持管理(老朽化)に関し、道路・橋梁等土木構造物の維持管理、整備・補修計画に適用されるものである。 全国で72万ヶ所以上ある橋梁やトンネルは、老朽化問題が深刻化しており、特に地方自治体が管理するものについては、現段階でも補修が必要にも関わらず、補修にとりかかれていないものもある。今後、高度成長時代に大量に建設された橋梁やトンネルによってさらに老朽化が進んだ構造物が増加し、補修補強対策が急務となっている。本システムは、これらの状況を鑑みて、国土交通省が推進するインフラ分野のDX(デジタルトランスフォーメーション)にも対応するものとして開発されたシステムであり、土木構造物のデータをクラウド上で一元管理することによって、適切な補修補強計画の立案と実行を推進し、以下の課題を最新のICT技術を用いて解決する。 ・効率的な点検、点検結果の簡単な登録方法、共有方法 ・損傷度／健全度の判定の効率化(熟練技術者の不足や、診断速度向上への対応) ・点検調書作成の効率化 ・補修補強計画の立案のサポート	(エ)
(3)その他	

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
システム営業グループ	新田 純子	03-6894-1888	nitta@forum8.co.jp